

平成27年度 第1回学術講演会のご案内

昭和大学歯学部小児成育歯科学講座客員教授

井上 美津子 先生 御講演

平成27年 9月5日(土)開催!!



日時: 平成27年9月5日(土) 午後7時～午後9時

会場: 高松市歯科救急医療センター

演題: 親子の健やかな育ちを支援する乳幼児歯科健診とは ～子育て支援の視点からの歯科健診の在り方とよくある質問への対応～

会員の先生方には平素より学術活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて今年度第1回目の学術講演会を開催します。「少子高齢化」「超高齢社会」という事で、高齢者の健康寿命延伸に注目が集まっていますが、健康寿命延伸の第1歩は「子ども達の健やかな育ち」にあるのではないのでしょうか。今回念願がかない、母子保健の第一人者である井上美津子先生に、子ども達の口腔保健にかかわる専門職で共通認識をもてるようになりたい!「口の機能の発達を考慮した育児支援の視点に立つ乳幼児歯科健診・保健指導」に関する内容でお願いしました所、お忙しい中急なお願いを快くお受け頂き、講演会が実現致しました。

これからの時代に求められる母子保健の在り方について、関係する多くの専門職種の方々と一緒に学ぶ場となることを願っております。会員の先生方、会員院所スタッフ、会員家族の他、各種医療従事者の方々の多くの参加をお願い申し上げます。

※会員の先生方は、日歯生涯研修カードを忘れずにお持ちください。

※聴講対象者は、高松市歯科医師会員・会員院所スタッフ・会員家族、医療従事者です。

※当日会場において、今回のご講演に関連する御著書の販売を割引価格にて行います。

この機会を是非ご利用ください。

※準備の都合上、9月1日(火)までに当日の出席の有無をお知らせください。 FAX 087-851-1120

歯科医院名 又は所属名		参加者	名
----------------	--	-----	---

(9月1日以降に出席可能が明らかになった場合でも、当日参加可です)。

【井上先生 講演抄録】

わが国の乳幼児歯科健診をふりかえると、3歳児健診が始まった昭和30年代は小児う蝕が急増していた時期で、まずはう蝕の早期発見・早期治療に主眼が置かれていましたが、1歳6か月児健診が始まった昭和52年になると、乳歯う蝕の増加も一段落して、早い時期からのう蝕予防を図るための保健指導に力が注がれることになりました。その後、う蝕予防の知識も普及し、少子化による保護者の子どもへの関心の高まりなどから、乳幼児のう蝕は明らかな減少を示してきて、地域差はあるものの乳歯う蝕の保有者率はピーク時の1/3~1/4程度になっています。ただ、う蝕の減少によって乳幼児の歯科疾患全体も減少しましたが、それでは子どもの歯や口の問題は解決されたかという点、そうともいえないようです。

最近の保護者の関心事は、「歯の生え方」「歯並び・咬み合わせ」「口の癖（指しゃぶりなど）」「食べ方の問題」など多岐にわたっています。最近の調査でも、子ども（2~6歳の園児）の食に関して心配事があるという保護者は54%を占めていました。しかし、子どもの歯や口の問題は保護者の関心は高いものの、子育ての現場に科学的根拠のある情報が伝わっているとは限らず、また見解が異なる情報がいくつも存在すると、子育ての現場に混乱を引き起こしたり、育児不安を高めることにもなりかねません。

核家族化・都市化の進んだ育児状況の中で、子育てについての情報はインターネットなどで比較的簡単に収集できますが、どの情報を信じたらよいか分からなかったり、具体的な相談をする相手がなかなか得られないことが多く、そのため育児不安に陥る保護者も少なくありません。疾病の発見や予防ばかりでなく、育児不安を解消して親子の心身の健康をサポートするような健診が求められている現状です。

歯科からも、公的歯科健診の場において、また歯科医院での保健指導の場において、親への育児支援や生活習慣へのアドバイスを通じて、子どもの口腔と全身の健やかな育ちをサポートしていくことが大切です。「口腔の健康」はゴールではなく、口腔の健康をベースに「食べる、話すといった口の機能を健全に育て、健やかな生活を送れるようにする」ことが重要であることを念頭に置きたいものです。

今回の講演では、このような歯科健診の在り方を皆様と一緒に考えたいと思います。また、歯科健診の際に保護者からよくある質問への対応についても、「小児科と小児歯科の保健検討委員会」で小児科医や臨床心理士、管理栄養士などと共にまとめた「考え方（共通見解）」を中心にご紹介したいと思います。

■略歴

1974年 東京医科歯科大学歯学部卒業、東京医科歯科大学小児歯科学教室（副手、医員）

1977年 昭和大学歯学部小児歯科学教室（助手）、1983年（専任講師）、1994年（助教授）、

2004年 昭和大学歯学部小児成育歯科学講座（助教授）、2006年（教授）、2015年（客員教授）

■著書

単著「指っておいしい？母と子の指しゃぶり教室」（青磁社）「食べる力はどう育つか」（大月書店）

「じょうずにかんでしっかりごっくん」（芽ばえ社）「子どもの歯と口のトラブルQ&A」（医学情報社）「指しゃぶり、おしゃぶりQ&A」（医学情報社）

共著「親と子の健やかな育ちに寄り添う 乳幼児の口と歯の健診ガイド」「子どものための歯と口の健康づくり」（医歯薬出版）「子どもの歯と口の保健ガイド」（小児医事出版社）「よい歯を育てる食生活」（わかば出版）「歯と口の健康百科」（医歯薬出版）「歯科保健指導ハンドブック」（医歯薬出版）「健やかな口、元気な子ども」（医歯薬出版）「歯科関係者のための食育推進支援ガイド」（日本歯科医師会）「楽しく食べて元気な子 歯科からの食育メッセージ」（母子保健推進会議）「乳幼児期の食育 一食育の観点から子育て支援を考える一」（日本小児保健協会）等 多数。